



会報

全国国公立幼稚園・こども園
PTA連絡協議会

第57号
発行者
全国国公立幼稚園・こども園
PTA連絡協議会
会長 猪木直樹
事務局
岡山県倉敷市玉島阿賀崎1-2-31
玉島テレビ放送(株)内
印刷
株式会社玉島活版所

「一々労不惜」

全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会
会長 猪木直樹



コロナ禍のもと感染拡大を防ぐために飛沫感染や接触感染さらには近距離での会話への対策を日常生活に定着させ、持続していかなければならない新しい生活様式の摸索を含む様々な問題が解決の糸口を見いだせない状態で長期化しています。会員の皆さまにおかれましては、学校だけでなく家庭や地域での子育ての在り方も問い直される今、幼児教育全体を改めてデザインするきっかけにしてほしいと思います。そして今こそ、昨年から申し上げている「ONE TEAM」を軸として学校・家庭・地域の連携を活かして幼児教育の危機を乗り越え、SDGsに絡んだ持続可能な良質の教育をめざしましょう。改めて、学校のありがたさと家庭の底力と地域コミュニティの可能性を感じながら子供たちの輝かしい未来に向かって、できることをできる形で、できる人がやってみて、工夫し考え、変化を恐れず構築していくことが重要と考えます。

今年の8月には富山県において「とことん富山でやさしい心もちよって まあるく和になり 語らんまい こどもの未来を」をテーマに掲げ、全国国公立幼稚園・こども園PTA全国大会富山大会が開催される予定でしたが、まさに世の中全体が自粛を強いられる中、中止せざるを得ませんでした。残念でなりません。特に森瀬忠克運営委員長をはじめ、富山県の実行委員及び関係各位にとっては悔しくてならないと思います。その思いをどうぞ幼児教育発展に傾注していただきたいと強く思います。来年は新潟の地において、全国国公立幼稚園・こども園PTA全国大会新潟大会を予定しています。新たな

形での開催になると思いますが、今の我々にできるやり方で、精一杯力を合わせていきたいと思っています。

また、令和になって特に時代が動いていると感じます。長期政権だった安倍内閣から菅内閣に代わりこれからの世の中に期待を膨らますばかりです。この春に突然出てきた9月入学制度に対し理解はすれども、急ぎ過ぎて年によって不利益を受ける子供たちも出てくることなどから、日本PTA等、他団体と意見を合わせながら全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会もアンケートを取り意見をまとめ国に提出しました。その結果、見送られましたが、組織として今後もしっかり情勢を見据えて対応していかなければと強く感じた出来事でした。これからも全国組織の強みを発揮して、幼児教育充実発展のために前進していきたいと思っています。

我が国は有史以来、幾多の感染症を乗り越えてきました。今の新型コロナウイルスとの闘いは続くと思いますが、英知の努力で必ずこの国難を克服するはずだと思います。先の大戦のとき、学童疎開をした教職員や子供、保護者たちの困難に立ち向かう努力は後世に賞賛されています。倉敷出身の平松恵美子監督の「あの日のオルガン」という映画でも紹介されたように今の我々の実践もやがて受け継がれるように精進したいものです。

自らの力を惜しまないで人々への思いやりやいたわりの行いに努めることこそ救いへの優れた力になり尊いのだという仏語にもあるように、まさに「一々労不惜」(いちいちのろうをおしまず)

with コロナ時代の子育てで大切なこと

—21世紀を幸せに生きるための「非認知能力」を育てる—

大豆生田啓友（玉川大学）

新型コロナウイルスへの感染問題は、私たちがこれまで抱えていた大きな課題を露呈しました。この4月からすべての小学校1年生はスタートカリキュラムが始まり、幼稚園・保育園・こども園で育ててきた「主体性」や「自分らしさ」が大切にされ、「学校が楽しい」というところからスタートするはずでした。しかし、コロナ問題が起こったことにより、まだ会ったこともない先生から、宿題のプリントだけが山のように送られてきて、「学校が楽しい」とはほぼ遠いという現実が多くありました。その後も、「学力の遅れを取り戻せ」と言わんばかりに休みが縮小され、またしても宿題の嵐となり、疲弊していく子供、親、先生。「学校は楽しい」はどうなってしまったのでしょうか。これは、苦しくても勉強して、他の子よりも遅れを取らずに、しっかりとテストができることが、将来の幸せにつながるという、まさに「昭和型」の教育に逆戻りしてしまったのです（もっとも、学校によって違いはあったようです）。

世界中の教育が、子供主体の教育へと転換する中で、日本の教育もアクティブ・ラーニング（主体的で、対話的で、深い学び）の教育をスタートする矢先のことでした。なぜ、アクティブ・ラーニングが重要なのでしょう。それは、第一には、子供が大人になる21世紀の社会は、AIが活躍し人の職業が大きく変わる時代となり、暗記して言われたことだけする仕事はAIが行う時代となるからです。第二には、これからさらに大きくなる環境問題、世界的な格差・分断・差別の問題などの課題解決のためには、これまでの受動的で暗記型の教育では立ち行かないこともわかっています。そして、従来のような終身雇用制はなくなり、大きな有名な企業に勤めれば、それで安泰な時代ではなくなるのです。だから、生き生きと生活し、自ら考え、試行錯誤したり、他者と協力したり、何かをやりぬこうとする姿勢が求められているのです。

幼児教育が遊びを重視しているのはそのためです。子供がおもいきり遊び込むことを重視しているのは、まさに小学校以降、そして大人にまでつながるアクティブ・ラーニングそのもののなのです。泥団子作りに没頭する子供は、それが固く光るものにしようと、何日もそれを繰り返します。親からすれば、「うちの子、将来、だんご職人にするために幼稚園入れているんじゃないのに（い

や、だんご職人の訓練にもなってないし）。」と思うかもしれません。でも、違うのです。それは、何かに集中し、自分なりに試行錯誤し、気持ちをコントロールし、困難を乗り越えたりすることなのです。また、友達がやっている姿を参考にしたり、時には協力しながら、課題解決することなのです。これは、言い換えれば、極めて重要な「非認知能力」の育ちなのです（詳細は、大豆生田啓友・千夏『非認知能力を育てるあそびのレシピ』講談社、を参考）。

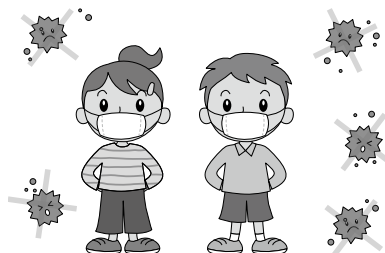
非認知能力とは、読み・書きなど目に見えやすい認知的な能力ではなく、目に見えにくい、心や社会性の能力なのです。それは、①自分の気持ちをコントロールしながらやりとげようとする力、②友達に思いやりをもち、協力する力、③自尊心・楽観性、などを指します。それって、考えてみたら、魅力的な大人の条件とも重なります。そうなのです。これは、乳幼児期だけではなく、将来にわたって大切な能力なのです。近年の研究ではさかんにこのような非認知的な能力の重要性が言われており、幸福学研究の第一人者である前野隆司氏は、人が幸せになる4つの因子として、①「やってみよう」因子（自己実現、自分が社会の役に立っている感）、②「ありがとう」因子（愛されている実感、人に感謝し、親切にしたいという思い）、③「なんとかなる」因子（楽観的、気持ちの切り替えができる）、④「あなたらしく」因子（他者と自分を比べない、自分自身のことがわかり、自分を持っている）をあげています。まさに、これは非認知能力です。非認知能力は、人の幸せにつながるとも言えるのかもしれません。

この非認知能力を育てるためには、子供が大人から「自分らしさ」をきちんと受け止められたり、夢中になって遊び込んだりすることが重要だと言われます。子供主体の遊びを重視する幼児教育は、実は将来にもつながる可能性がある非認知能力を育てることを基盤に、その先にある認知的な能力（言葉への関心、数量への関心、自然や科学への関心、等）をも育てているのです。家庭においても、園と連携し、子供の存在を受容的・肯定的に受け止める（その子の思いや言葉をしっかりと聴く）ことを大事にし、外で自然にかかわって遊んだり、何かに夢中になるような遊びを大事にしたりすることが重要です。おそらく、小学校以降の教育も、コロナ禍が少しずつ落

ち着く中で、子供主体の幼児教育同様、子供の主体的な学びが尊重されるようになっていくと思われます。

家庭は園のようになかなかいかないものです。特に、母親一人が子育てや家事の多くを担っているとすれば、それは大変なことです。イライラしてしまうことだってあるでしょう。そんなものです。日本の母親たちは本当によくがんばっていると思います。だから、あまり、「理想的な親」になりすぎなくてもよいと思います。フィンランドのある研究で、幼児期に機嫌のよい母親に育てられた子供は、思春期になってもとても穏やかな育ちをしているという研究があります。つまり、「理想的な親」よりも、「機嫌のよい親」が子供にとっては大切なようです。それを、ウィニコットというイギリスの児童精神科医はgood enough mother（ほどほどな母親）が大切であると言いました。子育ては、「ほどほど」くらいがよいのかもしれません。

withコロナ時代、先行きへの不安もあるでしょう。でも、子供はその子らしく、親である私たちも自分らしさを大切にするのが一番なのかもしれません。それが、子育ての一番の目標である、子供の幸せにつながる可能性があるということなのです。幼児期の子供時代はあっという間に過ぎてしまうものです。悩みもたくさんあるでしょうが、どうぞ、わが子との「いま」を楽しんでください。みなさまの、幸せな子育てライフを応援しています。



研究発表

提案発表1

「WA」になって互いに支え合うPTA活動 ～みんなの若美幼稚園～

男鹿市立若美幼稚園

平成30年度PTA会長 三浦 義智
PTA副会長 山方 直人

1 はじめに

本園は、「なまはげ」で全国的に知られる秋田県西部にある男鹿市にあり、日本海に突き出た独特の地形と気候風土により築かれてきた男鹿半島と、干拓地として日本最大である大潟村との間に位置します。自然景観や地質学的価値などから「男鹿半島・大潟ジオパーク」として平成23年に日本ジオパークに認定され、平成30年11月には「なまはげ」がユネスコ無形文化遺産にも登録されるなどと、恵まれた文化、自然環境の中で子供たちは安心して伸び伸びと過ごしています。

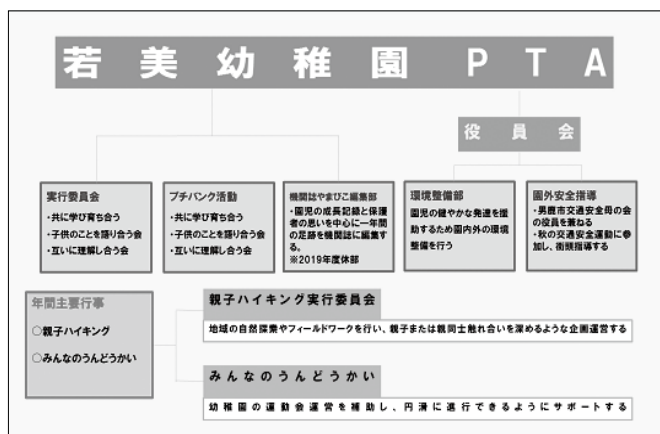


本園の教育目標は、「意欲と思いやりのある子どもの育成～先生大好き、友達大好き、自然大好き、人の話に耳をかたむけ、いろんなことに目をむけていろんなことをやってみよう～」を掲げ、遊びと集団生活の中で一人一人の健康な心と体、可能性や創造性を伸ばしています。

令和元年度の園児数は満3歳1名、年少1名、年中11名、年長4名の合わせて17名です。

2 PTAの概要

本園のPTA組織は、在園児の保護者と教職員から構成されます。役員は会長1名、副会長2名、会計2名、会計監査2名、書記1名の役員で構成しています。主な活動内容は、園行事の運営補助、園庭や園舎内の環境整備、機関誌「やまびこ」の発行、PTA研修会への参加です。



3 PTAの事業活動

本園では年間を通し様々な活動を行っており、個人への負担を軽減すべく年間主要事業には実行委員会を組織し、企画・運営をするなど保護者全員が何らかの行事に対して中心に関わっています。また、年々少子化が進み、保護者一人一人の役割や責務が増してきている中、限られた人数で役員や実行委員という枠にとらわれずに出来る人が出来る時に出来ることを行い、時には地域の方々やOBの方々の協力を頂き、互いに尊重し、支え合い「みんなの若美幼稚園」として「輪」になって活動しています。

(1) プチバンクの登録

PTA会員の技能・特技を登録してもらい、PTA活動や園行事に生かそうという取り組みです。プチバンクの取り組みは、PTA活動をスムーズにするだけでなく、PTA会員の積極性を引き出すことや、同じ技能を持つ会員同士が一つの事業に取り組むことにより、より深い関わりを持つことができます。特に子どもの学年が違っていると保護者同士の関わりが少なくなりがちですが、学年を超えた保護者の繋がりを持つといった魅力も備えています。また、子供たちにとっても自分の親が園や自分たちのために作業している姿は嬉しくもあり誇らしくもあるはずです。

(2) 親子ハイキング

親子ハイキングは、令和元年度で42回目となる園を代表する行事の一つです。PTA会員内に親子ハイキング実行委員会を設置し、ハイキングコースとコース内で行うゲームコーナーやクリーンアップの実施箇所を選定し、コースの安全確認のため現地見などを行います。ゲームコーナーは、手作り自動販売機・ゼリーすくい・パン食い競争などで楽しみ、コース途中にはおんぶコースを設けるなど、親子のふれあいとゴールに向かって一生懸命に進む子どもの姿に成長とたくましさを感じられます。また、親子はもちろんですが、他の保護者の方々や先生方との親睦を深め、信頼関係を築く良い機会にもなっています。令和元年度の親子ハイキングは天候に恵まれず室内でのレクリエーションになりましたが、予定してい



たゲームコーナーや先生たちが考えてくれた親子で遊べるゲームを行い、充実した時間を過ごすことが出来ました。

(3) みんなの運動会

運動会実行委員会を設置し、運動会開催場所の選定(運動公園か園庭)、役割分担や当日の会場設営、PTA競技等について事前協議をします。また当日には子どもたちが良い環境で運動会を迎えられるように、必要に応じてプチバンクを活用し、草刈り作業等の環境整備を行います。令和元年度のみんなの運動会では前年に引き続き幼稚園の園庭で開催し、玉入れ競技や綱引き、フープ陣取り、平成29年度から取り入れたPTA競技では会場の全員で手つなぎ鬼を行い、会場にお越しいただいた全員参加型のみんなの運動会として大いに盛り上がりしました。



4 PTA事業の見直し

年々少子化が進む中、それと同時に共働き世帯の増加などといった家庭環境の変化に合わせ、PTA会員への負担軽減を目的としてPTA事業を見直し、事業の縮小または廃止についてPTA役員会で議論しています。

(1) 坂作り・学習会

坂作り実行委員会を設置し、園庭の除雪作業を行いながら園庭にある築山に雪を集め、子供たちがソリ遊びを楽しめる雪の坂を作ります。また外部から講師を招き、食育や子育てに関する講演を行います。この事業は冬の降雪対策として実施していましたが、沿岸部でもととの降雪量が

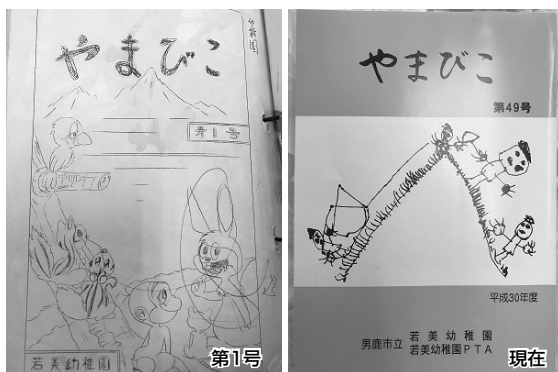


が少ない事と近年の地球温暖化の影響もあり、雪の坂作りが出来ない状態が続いているため、坂作り・学習会を廃止し、降雪時にプチバンクを活用した冬の環境整備として事業の見直しを図りました。

(2) 機関誌「やまびこ」の発刊

機関誌「やまびこ」はクラス毎に思い出の写真や子供たちへの親の思いや先生方の思い、その年のあゆみ等を掲載し、昭和48年に第1号が発刊され、令和元年度で第50号が発刊というとても長い歴史のある事業です。機関誌やまびこ編集部を設置し、写真や文章など内容の編集を行い年度末に発刊します。やまびこ編集部の作業は他の委員会と比べ、活動回数が多く部員の負担が大きく、一冊3,000円の金額負担も考慮して、令和元年度は休部とし、やまびこ編集作業を園の職員に一任し製本等一部を業者に委託する形で労力と経費を抑えて発刊し、以降の状況を見てやまびこ編集部の存続を判断していきます。

令和元年度の機関誌「やまびこ」は園職員の協力のおかげで無事に発刊することができました。



5 事業の成果と課題

成果として、PTA活動の積み重ねにより家庭と園の距離が近くなり、子供の成長と一緒に喜び合える環境ができています。またPTA活動での豊かな経験を通じて感じたり、気付いたり、理解したりと親子で学び合え、家族共通の話題がもてるようになりました。

課題として、単純なPTA活動の縮小ではなく効率的に進化させ引き継いでいくことが重要だと感じています。また、預かり保育利用者が増え保護者同士の顔を合わせる機会が減少しており、子育ての悩み等気軽に話しあえる環境の構築がこれまで以上に必要だと感じています。

6 おわりに

PTA事業は長い時間をかけて積み上げてきた実績を時代の変化、環境の変化と共に柔軟に変えながらより良い方向へ改善していく必要があります。先生や保護者、地域の方々の園を取り巻く多くの人たちが創る「WA～輪～」の中で、子供たちを支え、豊かに育てる土壌が出来ることで、子供たちの笑顔がたくさん新しい「WA～和～」を創り上げます。毎日の生活や、仕事の忙しさ、大変さは家庭ごとに異なりますが、みんなのWA かみ

幼稚園として互いに支え合うPTA活動をこれからも実践していきたいと思います。



提案発表2

(親+先生)×子供たち=∞

石川県白山市立松任幼稚園 会長 中島 優幸

2019年度、会長から、春夏秋冬の時系列に沿ってPTA活動の一部を父親の会「とーさんず」を中心に報告させていただきます。

(春：園周辺の清掃活動)(夏：夕涼み会)(秋：運動会、幼稚園まつり)(冬：餅つき、クリスマス会)



園舎前、父親の集合写真

1 春：園周辺の清掃活動と園内整備 (とーさんず 第1回)

年中、年長組の父親達は知った顔同士で『最近どう?』といった世間話をし合い、幼稚園が初めての年少組の父親とも気さくに声を掛け合って親交を深める機会となっております。

2 夏：夕涼み会(とーさんず第2回)

朝から園庭に集合してやぐらを組み立てます。やぐらを中心に、四方に伸ばしたロープには子ども達の描いた似顔絵の提灯を下げることで、とても賑やかで楽しい雰囲気満点の"祭感"が出ました。

例年、夕涼み会では、とーさんずによる着ぐるみステージショーが開催されていますが、当日は途中から雨が降

り出したため、ホールに緊急避難しました。行事リーダーや先生方が連携して、参加者全員をスムーズにホールへ誘導して下さったお陰で、より集中して着ぐるみステージショーを行う事が出来ました。



夕涼み会のやぐら組立



着ぐるみステージショー

3 秋1：運動会・幼稚園まつりが (とーさんず 第3回)

運動会では、園庭にテントの設営や、万国旗を下げましたが、たくさんの参加者のご協力で、スムーズに準備出来ました。設営後は運動会開始までの時間に県と協賛し、グッドマナーキャンペーンと称して来園される方々に声掛けあいさつ運動も行いました。

子ども達がメインの運動会ですが、唯一保護者がメインとなるPTAの競技があります。今回は、「逃げかご」というカゴが動き回る玉入れを行いました。私自身カゴ役を担い、実に楽しく、参加されている皆さんも終始笑顔で競技に参加されていました。逃げカゴ、とても楽しい競技ですので皆さんも是非！



逃げカゴ (逃げ回るお父さん)

秋2：松任幼稚園まつり (とーさんず 第4回)

各クラス、PTA役員、とーさんずがそれぞれに出し物を用意する一大イベントです。

幼稚園の中が普段とは大違いの楽しさ満点な空間に変わり、子ども達、それはもう楽しそうでした。



幼稚園祭り

「幸せな時間」とはこういう時間の流れの事を言うんだらうなと一人しみじみと感じておりました。

4 冬1：餅つき、クリスマス会 (とーさんず 第5回)

百聞は一見に如かず、体験こそ重要な刺激であり学びであると思います。餅つきはホールの真ん中でとーさんずが、うすときねで実際に餅をつくのですが、力いっぱいつく度に床が揺れ、その振動



餅つき

が子ども達にも伝わり、子ども達は目を丸くして夢中になっていました。

子ども達は餅をつくタイミングに合わせて『よいしょ！よいしょ！』と元気一杯いっぱいの掛け声で応援してくれました。温かく柔らかいお餅を食べた子ども達から『美味しい』『楽しい』といった声を聞くと、心の底からやって良かったと思います。

子供たちはお餅でお腹いっぱい、保護者は幸せで胸いっぱいになる最高のイベントです。

冬2：松任幼稚園では本物のサンタクロースが来園します。中の人？サンタさんですよ (へへ)

年少、年中、年長でそれぞれ反応が異なっていてとても面白かったです。

年少さんはもう嬉しくて嬉しくて目がキラキラして、年中さんは嬉しいんだけど普段見慣れないサンタさんにちょっと緊張気味で、年長さんは完全に中の人か誰なのかを探るので一生懸命でした。

バレないように懸命に演技しましたので…きっと無事に夢を与える事が出来たでしょう。

私がPTA会長を担う上で最も重要視した事は、子供の成長を楽しみながら親も成長する事でした。

(親+先生)×子ども達=∞についてですが、幼児期は人としての礎となる非常に大切な時期です。



クリスマス会

無限大の可能性を広げるのも狭めるのも我々大人次第。

松任幼稚園ではお子さんの卒園までにPTA役員、クラス委員、行事リーダーのいずれかを一人一役担う事になっており、各々が協力しあい各種イベントを企画運営しております。

保護者と先生方が連携して協力し合い、子ども達にとって記憶に残る楽しい幼稚園生活を過ごさせてあげたい。園での活動を通して我々大人も子ども達と共に成長する場でありたい。

そんなビジョンを掲げて会長をさせていただきました。以上が松任幼稚園の1年を通したPTA活動になります。長文、最後までご覧いただきありがとうございます。

提案発表3

「責任」よりも 子供たちの「笑顔」のために

西尾市立鶴城幼稚園PTA 若葉会

1 はじめに

西尾市は、愛知県の南部に位置しており、愛知県中央部を北から南へ流れる矢作川流域の南端にあります。西尾市立鶴城幼稚園は、西尾市の北部に位置します。海、山、川に囲まれた豊かな自然環境の中で、「自然と文化と人々がとけあい、心豊かに暮らせるまち」の中で園生活を送っています。

また、西尾市は「三河の小京都」として知られ、特産品は抹茶、鰻等が有名です。特に抹茶に関しては西尾市観光協会のマスコットキャラクターにも抹茶をイメージした「まーちゃ」がいます。

今回の発表では、子供たちの「笑顔」のために活動した内容をご報告させていただきます。

2 本園の紹介

- ・昭和43年に開園し、本年度で53年を迎えます。
- ・3歳児70名、4歳児63名、5歳児71名、計204名が在

籍しています。「自然、人いろいろな物との出会いを大切にし、心豊かで明るくたくましい子供の育成をめざしています。

- ・職員は園長はじめ21名となっています。



園舎風景

3 PTA組織と活動内容

- ・西尾市立鶴城幼稚園のPTA組織は若葉会として活動をしています。
- ・男性役員（会長1名、副会長1名、書記1名、会計1名、会計監査1名）計5名
幼稚園主催のイベント時の手伝い、夕涼み会、餅つき会等が主たる活動内容となっています。
- ・女性役員（母親代表1名、副代表3名、書記1名、会計1名、会計監査1名）計7名
バザー主催、園庭の芝刈り、奉仕活動、降園時交通整理、資源回収当番、園行事の手伝い等と、常に園と寄り添い活動をしています。
- ・クラス委員として各クラスに2名ずつクラスの代表として活動しています。
- ・男性役員・女性役員・クラス委員が中心となって若葉会活動を進めていきます。

4 実践内容

(1) バザー

バザーの目的は、子供たちへの還元です。収益を元に、



「まーちゃ」

子供たちに絵本や遊具を購入し、より良い園生活が送れるように幼稚園をサポートしています。

- ・女性役員を中心に活動します。市内にある公立園3園が連携を取り合い企画しています。
- ・販売するものは主にリサイクル品や手作り品です。
- ・手作り品はお人形の洋服、子供用いす、アクセサリ、お弁当袋・コップ袋・通園バック等の園生活で使うものまで様々でお母さんたちの愛情がいっぱいです。
- ・近隣にも案内を出し、地域の方々にも参加を頂き毎年盛況です。
- ・また、手作り品を皆で作るうちに会員相互の親睦も深まり、楽しい時間をつくることもできました。「お友達ができて、楽しかった！」などの声も聞かれました。
- ・今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、バザーは行いませんでしたが、ミニバザーで手作りマスク販売を行いました。30分の予定でしたが、あっという間に完売しました。



(2) 夕涼み会

- ・職員、男性役員を中心に活動します。お菓子釣り、金魚すくい、きもだめし、盆踊り、などのイベントで園児も保護者も皆で楽しめます。
- ・最後に行われた花火では、男性役員が仕掛け、打ち上げを行い大歓声で終わりました。



(3) 運動会

- ・園と若葉会で共同開催をします。主に保護者競技、祖父母、未就園児の競技進行を行います。職員と一緒にテント設営、器具運び等をします。ジュースの販売や保護者行事の司会進行等も行います。
- ・皆で楽しい運動会になるよう力を合わせて頑張っています。園児の成長した姿を見ながら、保護者も成長しています。全員参加で楽しい運動会となりました。



(4) 餅つき会

- ・男性、女性役員総出で行います。
- ・園児たちに日本の伝統行事を肌で感じて欲しいので、園と協力して行います。園児全員が餅つきを体験します。餅米が炊き上がるにおいや、餅がつきあがる杵の音や杵の重さなどを体験し園児達の笑顔がはじけていました。
- ・つきあがった餅は全員がつき、つぶつぶで少し固くなっているのを鏡餅として各クラスに届けています。



5 まとめとこれからの課題

近年は、働く保護者も増え毎年PTA役員の選出にも苦勞しています。実際に私どもの園でも立候補というのは殆どなく、知り合いや前役員からの依頼を受けて翌年の役員が決まっているのが現状です。実際に、役員を引き受け活動をしてみると、「楽しかった。」「園児たちの普段見られない姿も見れて良かった。」など、前向きな意見ばかりでした。活動の楽しさを共有することで、「責任」よりも園児たちの「笑顔」のために皆が一丸となって活動できる若葉会であるよう今後も時代に合わせたPTA活動を模索していきたいです。

令和元年度会務報告

(平成31年4月～令和2年3月)

月・日	摘 要
4月3日	・入会並びに会費納入についての文書（加入園）発送 ・令和元年度理事名報告依頼
5月1日	・茨城大会開会式臨席依頼（文部科学省・国公幼会長・その他） ・茨城大会提案発表の指導助言について依頼（文部科学省・国公幼会長）
14日	・茨城大会について後援名義使用許可申請書提出（文部科学省・国公幼会長）
29日	・岡山県国公立幼稚園・こども園長会総会出席〔会長〕
6月6日	・広報に関する研究会に出席〔会長〕 ・文部科学省訪問〔会長〕 ・第1回理事会ならびに役員会開催案内状発送
7日	・第70回全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会「熊本大会」に出席 （本会発展の協力依頼）〔会長・事務局長〕
27日	・石川県国公立幼稚園・こども園 PTA 連絡協議会研修会〔会長〕
7月11日	・文部科学省表敬訪問〔国公幼会長・副会長3名〕〔全幼P会長・副会長3名・事務局長〕
16日	・令和元年度要望書発送
26日	・令和元年度優良 PTA 文部科学大臣表彰内定一覧表受領 ・第66回全国国公立幼稚園・こども園教育研究協議会三重大会出席〔会長〕
8月9日	・全幼P会計監査・役員会・第1回理事会 情報交流会開催
10日	・第57回全国国公立幼稚園・こども園 PTA 全国大会茨城大会（開会式・優良 PTA 文部科学大臣表彰式・総会・記念講演・提案発表・文部科学省講話・次期開催地 PR・閉会式） 総 会 1 平成30年度会務・決算報告 2 会計監査報告 3 役員改選報告 4 令和元年度活動方針・事業計画・予算・規約の各案について 5 今後の大会開催地・提案県について 6 大会宣言文について
22日	・日本 PTA 全国研究大会兵庫大会出席〔会長〕
23日	・全国大会の礼状発送
29日	・第2回理事会並びに役員会案内状発送
9月4日	・令和2年度「富山大会」における提案発表について依頼（秋田県・石川県・愛知県）
5日	・全附P連 PTA 合同シンポジウム運営委員会出席〔会長〕
11日	・会報56号原稿依頼
10月4日	・全附P連 PTA 研修会参加〔会長・中川副会長・中島理事・事務局長〕

月・日	摘 要
20日	・東京都公立幼稚園・こども園 PTA 連絡協議会 創立50周年記念式典並びに祝賀会出席〔会長〕 ・大阪市立幼稚園音楽会出席〔会長・萬里小路顧問・事務局長〕
23日	・富山県・富山市表敬訪問及び第58回全幼P全国大会富山大会実施説明会
24日	〔会長・吉田副会長・事務局長〕
11月14日	・正副会長会・第2回理事会開催 理事会 1 令和2年度活動方針・事業計画（案）について 2 令和2年度「富山大会」について 3 令和2年度要望について 4 令和3年度「新潟大会」について 5 今後の全国大会開催県・提案県について 6 文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 家庭教育支援室 室長補佐 榎木奨悟 氏の講話 ブロック会議
12月4日	・第3回理事会並びに役員会案内状発送
1月9日	・第57回全国国公立幼稚園 PTA 全国大会茨城大会集録発送
16日	・臨時正副会長会開催 今後の全国大会の在り方等について協議〔会長・副会長他〕
28日	・会報56号発送（加入園・寄稿者・全幼P未加入県園長会長・文部科学省・顧問他） ・本会入会チラシ（未加入園）発送 ・第59回全国国公立幼稚園・こども園 PTA 全国大会新潟大会開催について依頼 ・第57回全幼P全国大会茨城大会事業報告書・決算書提出（文部科学省・国公幼）
2月14日	・正副会長会開催・第3回理事会開催 理事会 1 令和2年度富山大会について 2 大会宣言文案について 3 令和元年度会務・決算中間報告 4 令和2年度活動方針・事業計画（案）について 5 令和2年度予算（案）について 6 富山大会における表彰状・感謝状受賞者（案）、令和2年度年間行事計画（案）について 7 今後の大会開催地・提案県について 8 令和2年度要望について 9 令和3年度第59回新潟大会について 10 国公立幼稚園・こども園長会 会長 新山裕之 氏の講話 ブロック会議
3月31日	・第58回全国国公立幼稚園・こども園 PTA 全国大会富山大会中止の案内発送

令和元年度会計決算報告

収入の部 収入総額 11,269,352 円

単位 (円)

項 目	元年度予算額	元年度決算額	摘 要
会 費	6,804,500	6,799,390	1991園(116125人)、会長副会長9名 ※振込手数料差引の金額
雑収入	900,000	1,038,023	AIG 手数料・預金利息
繰越金	3,431,939	3,431,939	
合 計	11,136,439	11,269,352	

支出の部 支出総額 6,209,875 円

単位 (円)

項 目	元年度予算額	元年度決算額	摘 要
通信費	250,000	149,956	葉書・郵送料・電話（電報）代 他
印刷費	350,000	307,786	要望書・会報印刷代
大会費	900,000	1,041,928	茨城大会関係費
会議費	2,500,000	1,705,964	理事会・役員会諸経費・交通費補助・大会打合せ経費
渉外費	800,000	521,998	表敬訪問旅費・出張旅費 他
消耗品費	50,000	20,091	事務用品 他
人件費	1,700,000	1,697,520	事務局員給料
雑 費	800,000	764,632	公租公課・賃借料・税理士報酬 他
予備費	3,786,439	0	
合 計	11,136,439	6,209,875	

差し引き額 5,059,477 円

本会規約第8条の規定により、会長及び事務局立会いのもと、帳簿並びに証拠書類を監査した結果、正確かつ適正に処理されておりました。

令和2年7月21日 監 事 広瀬 泰弘
 監 事 星野 育代
 監 事 小川 恵



令和2年度活動方針ならびに事業計画

1 活動方針

令和元年にノーベル化学賞を受賞された吉野彰氏のことばが心に響きます。「目標を実現するために役立つ研究と好奇心に基づく基礎研究が重要であり、その上にあきらめずに続けることが大切である。」我々が今、理想に向かって邁進している幼児教育を取り巻く環境整備そのものに当てはまると思います。子育ての基本を様々なところから学び、それぞれの立場の者が教育の質を上げようと研究を重ねています。幼児期の発達の特性に照らして幼児の自発的な活動としての遊びを重要な学習として位置付けて、適切な施設設備のもとに組織的・計画的な指導を、環境を通して行おうと日々精進しています。そして昭和38年より半世紀以上に渡って引き継いでいる我々の組織、それらすべてが吉野彰氏のことばと合致するのではないのでしょうか。どんな時代背景であろうともあきらめずに継続していけば、きっと実を結ぶと信じて前に進みたいと思います。まさに「一陽来復」です。我々はすべての子どもたちが笑顔いっぱい成長していくことを望んでやみません。目先の結果のみを期待しているのではなく「後伸びする力」を培うことを重視している国公立の幼児教育から生涯にわたる学習意欲や好奇心・探求心を養い、学びの芽生えを子どもたちに育んでほしいと強く思います。そのために保護者として、また地域人として、しっかりと園をサポートしていきたいと思えます。

全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会は、す

べての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられる環境構築のために、他団体との連携を密にし、以下の項目の実現を目指した行動の推進を活動方針とします。

記

- (1) 義務教育化を前提とした幼児教育の充実
- (2) 会員の資質向上と組織強化
- (3) 幼児の安全確保に向けた事業推進
- (4) 家庭・地域の教育力の向上
- (5) 情報共有の強化
- (6) 国公立幼稚園・こども園教職員の待遇改善

2 事業計画

4月～5月

- ・加入園へ会費納入の案内状発送（富山大会中止のため案内状発送 取止め）
- ・令和元年度会務報告と決算報告書作成
- ・令和2年度理事名・加入園名報告依頼
- ・全幼P全国大会富山大会の後援名義使用許可願（富山大会中止のため取止め）
- ・富山大会の助言者依頼（富山大会中止のため取止め）

6月～7月

- ・第71回全国国公立幼稚園・こども園長会総会「埼玉大会」にて本会発展の協力依頼（中止）
- ・令和2年度要望書作成
- ・表敬訪問（文部科学省）（延期）

- ・秋田県・石川県・愛知県へ研究発表原稿依頼
- ・令和3年度全国国公立幼稚園・こども園PTA全国大会「新潟大会」における提案発表について依頼
- ・会計監査
- ・総会議案資料（書面表決のお願い）送付
- ・会報57号原稿依頼
- ・令和3年度活動方針・事業計画書案と要望書案作成
- ・未加入園へ加入依頼書の案内状発送
- ・第2回理事会
- ・理事会での検討事項の処理
- ・日P広報に関する研究会

8月~12月

- ・役員会、第1回理事会（中止）
- ・大58回全国国公立幼稚園・こども園PTA全国大会「富山大会」総会ならびに研究大会（中止）
- ・第67回全国国公立幼稚園・こども園教育研究協議会「和歌山大会」出席（中止）
- ・会報（臨時）発行
- ・新潟大会開催について事前打合せ、表敬訪問

1月~3月

- ・会報57号発行
- ・未加入県へ加入呼びかけ
- ・令和2年度会務報告・会計決算中間報告書・令和3年度会計予算案作成
- ・第3回理事会
- ・「早寝早起き朝ごはん」全国協議会フォーラム参加

令和2年度 会計予算書（案）

収入の部 収入総額 11,923,477 円

単位 (円)

項 目	元年度予算額	2 年度予算額	摘 要
会 費	6,804,500	6,064,000	500 円 × 1,810 園 + 50 円 × 103,000 人 + 1,000 × 9 人(会長副会長等)
雑収入	900,000	800,000	AIG 手数料・預金利息
繰越金	3,431,939	5,059,477	
合 計	11,136,439	11,923,477	

支出の部 支出総額 11,923,477 円

単位 (円)

項 目	元年度予算額	2 年度予算額	摘 要
通信費	250,000	250,000	葉書・郵送料・電話（電報）代 他
印刷費	350,000	350,000	要望書・会報印刷代
大会費	900,000	900,000	富山大会関係費
会議費	2,500,000	2,500,000	理事会・役員会諸経費・交通費補助・大会打合せ経費
渉外費	800,000	800,000	表敬訪問旅費・出張旅費
消耗品費	50,000	50,000	事務用品 他
人件費	1,700,000	1,700,000	事務局員給料
雑 費	800,000	800,000	公租公課・賃借料・税理士報酬 他
予備費	3,786,439	4,573,477	
合 計	11,136,439	11,923,477	

差し引き額 0円

大会開催地計画表

(○実施済 ◎予定)

[illegible]

都道府県	園数	昭和38年～平成12年		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7
		1回～38回		39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
東海・北陸	富山	19	63年度第26回																				中止					
	石川	3	49年度第12回																									
	福井																											
	岐阜	43	平成11年37回																									
	静岡	64	52年度第15回					○																				
	愛知	81	44年度第7回・平成7年度第33回															○										
近畿	三重	5																										
	滋賀	91																		○								
	京都	47	47年度第10回 平成12年38回																									
	大阪	70	平成元年度第27回										○															
	兵庫	228	56年度第19回・60年度第23回					○																				
	奈良																											
中国	和歌山	36	平成5年度第30回																									
	鳥取																											
	島根	65	38年度第1回・46年度第9回														○											
	岡山	190	54年度第17回・平成6年度第32回									○																
	広島																											
四国	山口	28	41年度第4回		○																				◎			
	徳島	79	39年度第2回・59年度第22回																		○							
	香川	102	55年度第18回・平成9年度第35回																								◎	
	愛媛	50	平成2年度第28回									○																
	高知	13	42年度第5回			○																						
九州	福岡	34								○																		
	佐賀	8																										
	長崎																											
	熊本	24	45年度第8回・62年度第25回																	○								
	大分	71	58年度第21回・平成10年度第36回																							◎		
	宮崎	13																										
	鹿児島																											
	沖縄																											

令和2年度 役員

1	会 長	猪木 直樹	岡 山
2	副会長	大関 敏寛	秋 田
3	〃	中川 博喜	東 京
4	〃	吉田 尚	愛 知
5	〃	谷村 利貴	大 阪
6	〃	野々村卓也	島 根
7	〃	山崎 篤史	徳 島
8	〃	清松 督雄	大 分
9	〃	小岩井 聡	園長会
10	特任理事	永瀬 義剛	熊 本
11	監 事	星野 育代	茨 城
12	〃	小川 恵	富 山
13	〃	白澤 陽子	新 潟

事務局長	角屋 純子
事務局員	守屋 恭子
〃	岡本 由美

令和2年度 顧問

	氏 名	備 考
1	高橋 勝明	元全幼P会長
2	萬里小路伸一郎	前全幼P会長
3	上枝 秀則	前全幼P副会長
4	今井 昇	前全幼P副会長
5	太田 禎彦	前全幼P副会長
6	新司 英子	前全幼P事務局長
7	酒井 幸子	元全国国公立幼稚園園長会会長
8	岡上 直子	元全国国公立幼稚園園長会会長
9	池田多津美	元全国国公立幼稚園園長会会長
10	荒木 尚子	元全国国公立幼稚園園長会会長
11	岩城真佐子	元全国国公立幼稚園園長会会長
12	関 美津子	元全国国公立幼稚園園長会会長
13	新山 裕之	前全国国公立幼稚園園長会会長
14	箕輪 恵美	全国国公立幼稚園園長会会長
15	深町 芳弘	元全国国公立幼稚園園長会事務局長
16	楚阪 博	前全国国公立幼稚園園長会事務局長
17	佐藤 忍	全国国公立幼稚園園長会事務局長

書面表決の結果

今年度は富山大会が中止になり、総会を開催することができなくなり、書面での表決とさせていただきました。その結果を下記のとおりご報告いたします。

議案

- 令和元年度会務報告
- 令和元年度会計決算報告書
- 令和2年度活動方針（案）ならびに事業計画（案）

- 令和2年度会計予算書（案）
- 表彰状・感謝状受賞者（案）
- 令和2年度役員（案）

すべての議案は提出をいただいた方全員一致で承認されました。